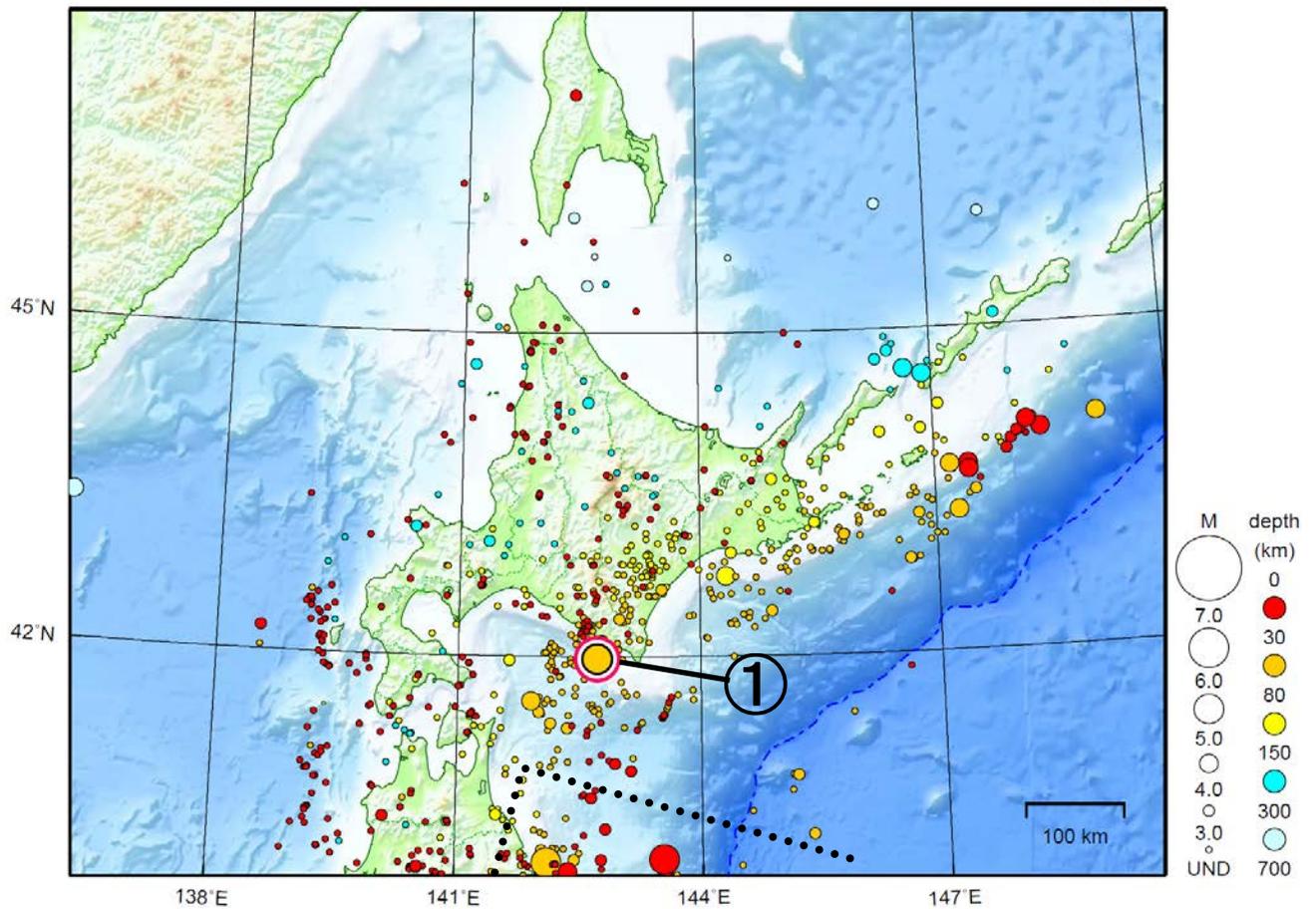


# 北海道地方

2015/02/01 00:00 ~ 2015/02/28 24:00

N=1031



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

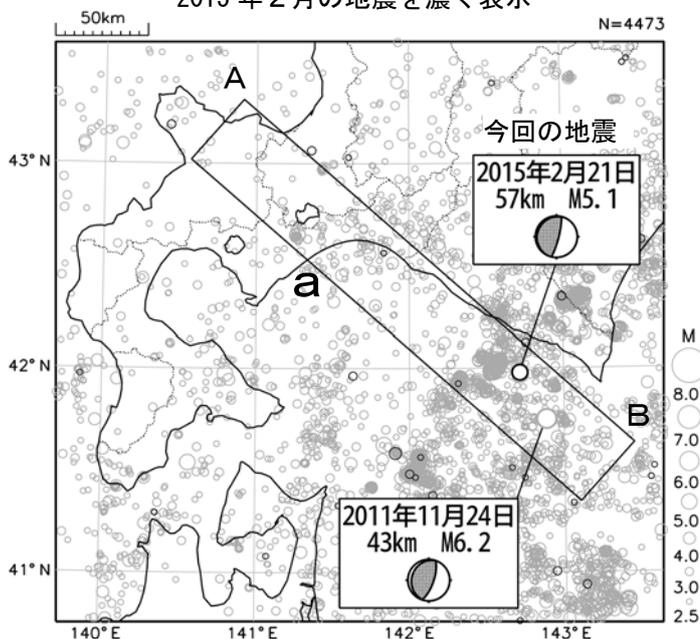
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 2月21日に浦河沖でM5.1の地震（最大震度3）が発生した。

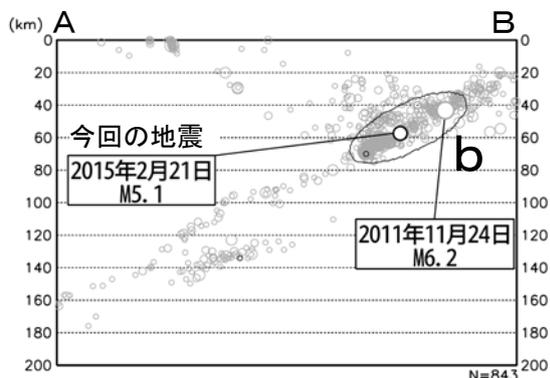
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

## 2月21日 浦河沖の地震

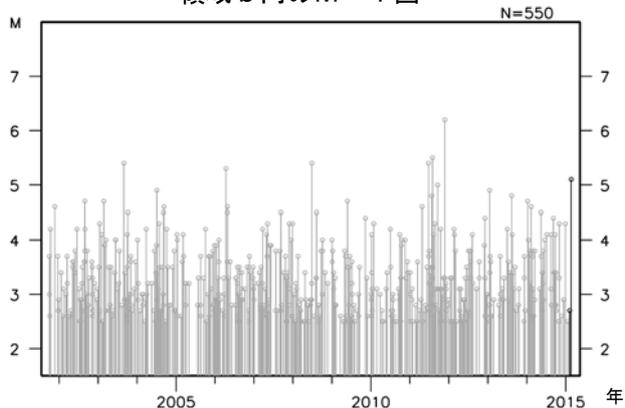
震央分布図  
(2001年10月1日～2015年2月28日、  
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$ )  
2015年2月の地震を濃く表示



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図

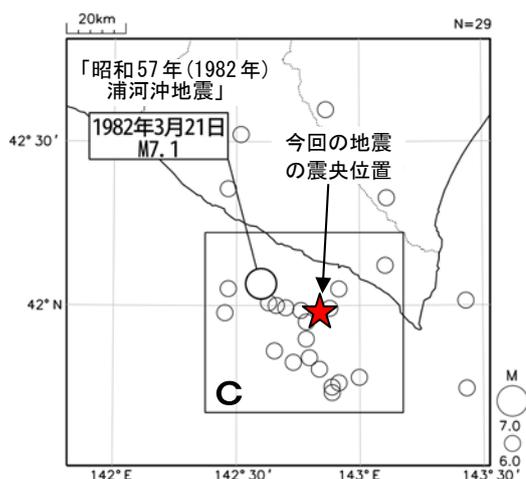


2015年2月21日04時28分に浦河沖の深さ57kmで $M 5.1$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

2001年10月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、 $M 5.0$ 以上の地震がしばしば発生している。

また、1923年1月以降の地震活動を見ると、今回の震央周辺 (領域c) では、 $M 6.0$ 以上の地震がしばしば発生している。最大の規模の地震は「昭和57年 (1982年) 浦河沖地震」 ( $M 7.1$ 、最大震度6) で、重軽傷者167名、住家全半壊41棟などの被害を生じた (「昭和57・58年災害記録 (北海道、1984)」による)。この地震により、浦河で78cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測した。

震央分布図  
(1923年1月1日～2015年2月28日、  
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ )



領域c内のM-T図

